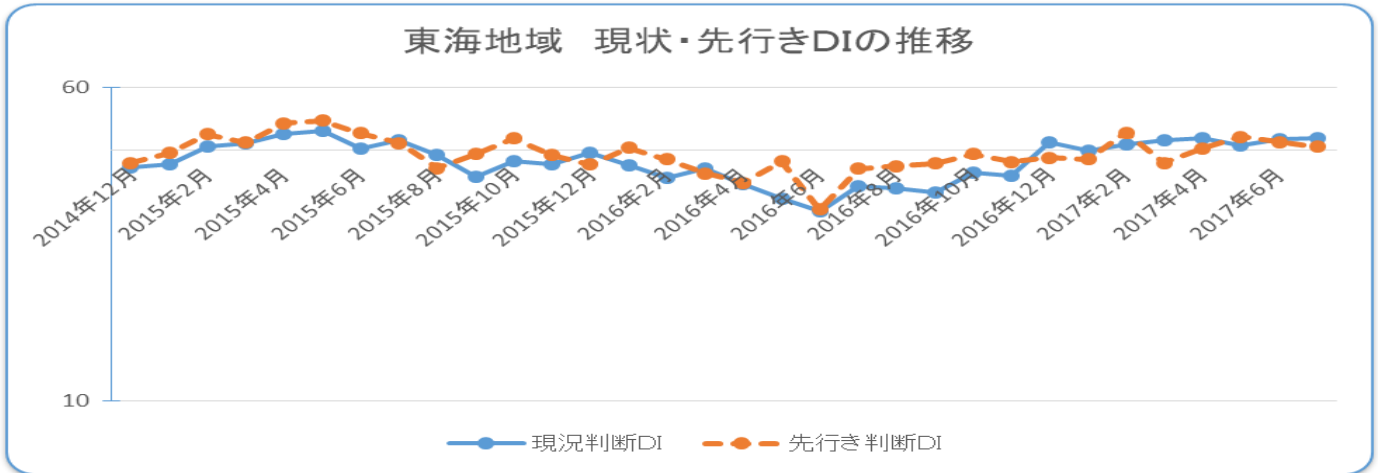


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2017年7月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》例年に比べて暑いので、冷たいドリンクやアイスクリームの売行きが良く、前年比の売上も回復傾向にある。好調な商品に引っ張られて、おにぎりやサンドイッチ等も売上が伸び、以前より良くなってきている。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	《販売量の動き》新型車種が発売されたが、さほど市場の盛り上がりを感じない。ボーナス支給や長期夏期休暇を控えてはいるものの、来客数の増加や店頭のにぎわいをあまり感じられない。【乗用車販売店（従業員）】
		やや悪	《販売量の動き》夏は休みの人が多いため会議等が減少するが、例年以上に顕著である。【その他飲食【仕出し】経営者】
	企業 動向 関連	やや良	《その他》住宅の建築戸数が増えている。個人住宅の新築や建て売り販売もあちらこちらで目にする。売物件を探しているチラシもよく入る。【化学工業（人事担当）】
		不変	《取引先の様子》株価も為替も落ち着いていることから、個人投資家には大きな資産効果が見込めない。投資家以外の個人も、賃金は上がっていないため、景気は3か月前と比べて変わっていない。【金融業（企画担当）】
		やや悪	《取引先の様子》プラスチック原料の国内生産品の調達が制限されており、海外原料へシフトしなくてはいけない。原料調達コストも増加している。【化学工業（営業）】
	雇用 関連	良	《求職者数の動き》3か月前に比べて、有効求職者数が3.6%減少したため、有効求人倍率が0.04ポイント上昇している。【職業安定所（職員）】
		やや良	《求人数の動き》業種を問わず生産が伸びており、2交替制や3交替制の製造現場では人材が不足しているため、人材採用に関する情報を多数入手している。【人材派遣会社（営業担当）】
		不変	《採用者数の動き》引き続き求人倍率の高い状況は変わらない。新卒採用が一段落した後、中小企業では第2新卒の採用が増えてくる可能性がある。【民間職業紹介基幹（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	ポケットWi-Fi等の普及で家庭での光回線の解約が一時目立っていたが、最近はまだ家庭でのWi-Fi環境を整える傾向にあり、移転等に伴う利用申込が増えてくる。【通信会社（サービス担当）】
		不変	秋に向けて主力車種のフルモデルチェンジが予定されている。今後の事前活動で少しでも関心をもってもらうことで、市場の盛り上がりを期待する。【乗用車販売店（従業員）】
		やや悪	当地域は大河ドラマ関連の商品やサービスが増えており、全体的としては元気があるはずだが、自社のサービスをみると逆の傾向である。一部の業界だけではなく企業全般の業績改善、更には家計の改善がなくては、景気の回復は厳しい。【通信会社（企画担当）】
	企業 動向 関連	やや良	目に見えて良くなっている感覚はないが、比較的回復ムードにあるような印象である。特に建築関係や自動車関連業界に関しては、やや上向きの傾向が見込まれる。【金融業（従業員）】
		不変	株価には天井感があり、為替もボックス圏での動きで個人投資家の資産効果は大きくは見込めない。投資家以外の個人は、賃金が上がらないと消費が拡大しないため、期待できない。個人消費が増えなければ、景気は変わらない。【金融業（企画担当）】
		やや悪	客先業界が相変わらず低調なため設備投資が減り、これから先はあまり期待できない。新製品によりある程度持ち直してくれればと期待をもっている。【電気機械器具製造業（経営者）】
	雇用 関連	やや良	インターンシップ受け入れ企業のほとんどで、入社を問われ、採用試験の受験を勧められる状況にあり、売手市場を実感している。【学校【専門学校】就職担当】
		不変	正社員の求人数は3か月連続で前年同月を下回っている。キャリアアップ助成金の申請件数は、前年同期の3倍に増え、従業員の労働条件は改善が進みつつある。【職業安定所（職員）】
やや悪			